

保育おおさか

No. **432**

平成 23 年 8 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/

近畿ブロック保育研究集会

国の役割が重要 財源含む質の確保



式典の様子

給付システムの一体化と 施設の一体化で行政報告

近畿ブロック保育研究集会が、平成23年7月21日(木)～22日(金)、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールをメイン会場として開催され、各府県市から943人の保育関係者が参加しました。行政報告、記念講演が行われ、8つの分科会で活発な研究発表がありました。

社団法人滋賀県保育協議会会長高本文善氏の挨拶、大津市長をはじめ、来賓の方々の祝辞などの開会式の後、厚生労働省雇用均等・児童家

式典



森田博通氏

テムの一体化、②施設の一体化であると説明。

給付システム
の一体化では、
地域における学
校教育・保育の
計画的整備と多

様な保育事業の量的拡大と子ども園給付(仮称)の創設により二重行政の解消と公平性の確保を図ること、また施設の一体化としては総合施設(仮称)の創設であると説明されました。また、国の役割で重要なことは、職員の配置と面積基準などのナショナルミニマム(基準)をしつかりと定めることであり、財源確保を含めた質の確保であるとも述べられました。

庭局保育課課長
補佐森田博通氏
から行政報告が
ありました。

子ども・子育て
新システムに
おける幼保一体
化の目的は、①
質の高い学校教
育・保育の一体
的提供、②保育
の量的拡大、③
家庭における養
育支援の充実で
あり、具体的な
しくみとして
は、①給付シス

分科会

地域における 専門機関連携の重要性



小宮恵一氏

「子育て・
子育て支援の
ネットワーク
と保育所の役
割」をテーマ

にした第6分科会では、大阪府から小宮恵一氏(泉佐野ルーテル保育園園長)が発表しました。

平成10年度から大阪府の認定を受けて活動してきた保育園の育児相談員であるが、地域では、子育てに関する悩み以外の問題が関わっている事例が大変多く、どのように解決すればいいかが分からず、問題解決に至らない場合もある。各専門機関との連携をとれるように日ごろから環境を整え、子育て以外の問題が関係する場合で

(2面に続く)



熱気に溢れる会場



「感謝」とい
う気持ちは、人
によって、物に
よって気持ちの
込め方が違って
きます。

3月11日の東
日本大震災で被災された方々は
食事ができるありがたさ、電気
がついた時のありがたさを誰よ
りも感じていることだと思いま
す。

しかし、一方では、食べ残し
をする、電気もつけっぱなしに
すると、贅沢な生活によって感
謝をする基準が変わってくるの
だとも思います。

自分一人で生きているのでは
なく、誰かに支えられて生きて
いるのだという自覚を持ちたい
ものです。

食事をするときの「いただきます」
は、作ってくれた人への
感謝の気持ちを表すのはもちろ
ん、自分の口に入るまでに死ん
でいった動植物の命をいただく
という気持ちを込めて「いただ
きます」と言うのです。

贅沢が悪いとは言いません
が、贅沢を贅沢と思える気持ち
を大切に、ちよつとしたことで
も感謝できるのは、素晴らしい
ことだと思えます。

(編集委員N・N)

も、連携して解決に導くことが重要であるとの観点から、相談員のスキルアップを目指す「地域貢献支援員（スマイルサポーター）」制度が導入されたことについて紹介。

支援員は保育園の外へも出かけて行き、親の介護、老人の虐待、家庭内暴力など多方面にわたる悩みをすくい上げ、関係機関とともに支援をする役割を担うことについて説明しました。産経新聞に掲載された記事や、発達障がいと診断された自園の子どもへの支援で、母子保健センターや障

がい児通園施設と連携した事例なども交えて、発表されました。

助諸の寺見陽子氏（神戸松蔭女子学院大学人間科学部教授）は、専門機関とどのように連携していくか、コーディネーターとしての役割を担ういいケースであり、今後は、内部と外部のネットワークをいかに構築するか、ソーシャルワーク的な考え方も取り入れ、見通しのある計画的な支援が必要と、期待を込めて述べられました。

なお、第6分科会の大阪府からの発表は、11月2日

4日に横浜市にて開催される「第55回全国保育研究大会」の分科会で発表することが決定しました。

記念講演

「いっしょはばね」

元保育士で現シンガーソングライターの新沢としひこ氏が講演。音楽に合わせた簡単なヨガや手話、指相撲などを取り入れた体操は会場の保育者も参加。穏やかな笑顔と雰囲気包まれました。

「とはともだちのと」「世界中の子どもたちが」心は

はばね「さよならぼくたちの保育園」（芦田愛菜主演ドラマ挿入歌）など、保育者なら一度は耳にしたことのある曲を熱唱。曲作りにおける心温まるエピソードや曲に込められた思い、大震災に合わせた方々とのふれあいや追悼コンサートのお話から優しい気持ちが伝わってきます。

最後に新沢氏が作詞した「虹」（タレント。つるの剛士のアルバムに収録）を歌い、講演は終了。明日からの活力となる感動いっぱいの講演でした。

（編集委員M・K）

いのちを尊び、慈しむ保育を

谷ミヨ子氏 社会福祉法人 夢らんど 田 総園長



この度は、思いがけない名誉ある章を戴き身に余る光栄と存じ、深く感謝いたしております。この受章は私一人のもので

はなく関係機関・園や職員・子ども達や保護者の皆様のお陰でございます。本当に有り難うございました。

これからも、生命を尊び、生命を慈しみ、心を込めて生命を育んでまいりたいと、心を新たに致しております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

春の叙勲

瑞宝単光章

受章について

三角 信子氏 たんぽぽ保育園 相談役



受章のお知らせをいただき、お受けしても良いものか暫く考えましたが、廻りに勧められ頂くことにしました。

昭和27年、0歳の長男を抱えながらも、家族の助けで保育をスタートし、素晴らしい職員にも恵まれ「新しい、楽しい、家庭的な保育」と、考えてきました。

たんぽぽ保育園創立の折には他園の園長先生方に助けていただきました。各園長先生、新旧の職員に感謝の気持ちでいっぱいです。

「保育園における地域貢献事業」については、各地域においても取り組みが進められています。

堺市民間保育園連盟では、大阪府知事認定を受けた地域貢献支援員（スマイルサポーター）のフォローアップ研修を実施。昨年度は2月に第1回を開催し、18人の参加がありました。

研修では、スマイルサポーターの役割をテーマにした講義、実際の事例にもとづく意見交換や事例検討が行われました。

事例検討では、各参加者が対応シミュレーションを発表しました。

堺市社協職員からは、校区福祉委員会、民生委員児童委員、主任児童委員、コミュニケーションなどの活動や役割について説明が

独自にフォローアップ研修を実施

堺市

● 地域貢献事業・各地域の取り組み ●

あり、地域貢献事業の推進で連携する社会資源や人材についての紹介がありました。

今年度は入門編と実践編を1回ずつ実施します。スマイルサポーターの認定を受けた直後の方を対象に実施する入門編では、事業推進の中核を担う人材としての心構えや姿勢について学びます。実践編では、昨年度の意見交換や事例検討の内容で実施する予定です。

各地域でも、地域貢献事業の推進に

向けて、ぜひ独自の人材養成に取り組んでいただきたいと思ひます。

▼今号から連続で各地域での取り組み状況を掲載します。「こんな取り組みをしています」という情報をぜひ事務局へお寄せください。

主体的に考え、行動する力 生命を大切に生きる力をもつ

毎日の食事を姿勢正しく
裸足保育で“第二の脳”刺激

箕面市

つばさ学園



きれいなランチルーム



素敵な園舎

園長の宗形靖義先生は、「オープンから4カ月。まだまだ保育に対する課題は多いですが、子どもたちが笑顔で健やかに育ち、未来に向かって羽ばたけるように日々の保育を行っています」と、やさしい眼差しで力強く語られました。

(編集委員M・H)

つばさ学園は平成23年4月、箕面市の待機児童解消プロジェクトに基づき、第二総合運動場の市民プール跡地に新設された保育園です。社会福祉法人ゆたか福祉会を本部とし、保育理念「自分らしく健やかに生きる」をモットーに、「自分が好き、友だちが好き」「主体的に考え、行動する力をもつ」「生命を大切に、生きる力を持つ」を保育目標に掲げ、保育に取り組んでおられます。

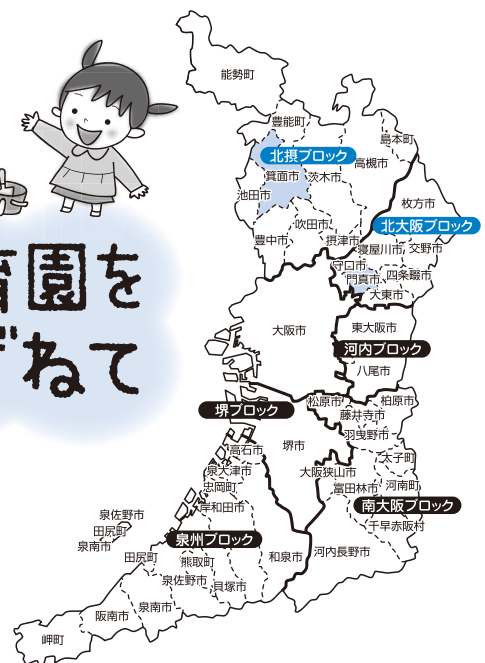
子どもたちの食育を高めるために、ランチルームのクッキングでは、園庭で生育する季節の野菜を見守り、収穫を楽しみ、食べる喜びを教えています。日々の給食でも、背もたれのない椅子を使用して、姿勢を正して食事することを実践しています。

子どもたちの体力向上のために、リトミック・巧技台を使って運動能力を増進しています。夏季の裸足保育で、第二の脳ともいわれる足を刺激しています。また、隣接する市民プールまで水着のまま行ける専用通路を設置し、3・4・5歳児が利用しています。0・1・2歳児は保育室のテラスでのプール遊びや水遊びで夏を過ごすなど、年間を通して日々の体力向上に努力されています。



保育園を
たずねて

431



平

成21年の公立民営化から3年目の柳町園は、京阪門真市駅と古川橋駅の中間に位置し、近くに門真市警察署があります。

民営化に際して、子どもと保護者に混乱が生じないよう配慮しつつ、これまで培ってこられた法人の理念や保育方針に沿った園運営を、保護者の理解と協力を得ながら取り組んでおられます。

その一つが、保育士の笑顔とやさしい言葉がけによる穏やかな雰囲気づくりです。乳児期から愛情を持つ



築山のどろんこあそび



素敵なウッドデッキテラス

て子どもを受容し、安定した生活リズムの構築から保育を始めています。

次に、遊びの環境構成。子どもたちにとって、教育的で豊かな遊びと多彩な体験ができる室内外の環境づくりを目指しておられます。

同園の園庭整備について「よい子ネット」の「園長のひとりごと」から抜粋します。「園庭に今までなかったもの。それは高低差と自然体験でした。年月をかけて

保育士が話し合い、園庭のデザインをして、打ち合わせを繰り返してきました。(中略)園庭整備で追加したのは、トンネルの築山、泥んこ遊びスペース、ウッドデッキ、芝生&クローバーのほっこりスペース、砂場です。(中略)子どもの体験できる遊びが増え、見た目にも以前とは様変わりした園庭になり、晴れた日には子どもたちの遊びや活動も大きく変わりました。」

室内は穏やかに、園庭では元気良く、たくさん体験や発見をして欲しいという願いが込められています。(編集委員J・H)

笑顔とやさしい言葉・雰囲気
安定した生活リズムの構築

職員が話し合ってデザイン
豊かな遊びが体験できる環境

門真市

柳町園

0歳からのモンテッソーリ教育 縦割り保育基本に一貫保育

敏感期にいろんな興味を持つ
多彩な経験手助けをする保育

東大阪市 むぎの穂第二保育園



たくさんのテーマスペース



温かな雰囲気の中園舎内

聖書から名付けられた
むぎの穂第二保育園
は、東大阪の西側に立地。
モンテッソーリ教育で人
気の高い保育園ですが、0
歳からのモンテッソーリ教
育は国内でも珍しく、全国
的な研修など職員養成に力
を注ぎ、人間が人間らしく
生きること、心が平和にな
ることをめざした乳幼児の
一貫保育をされています。

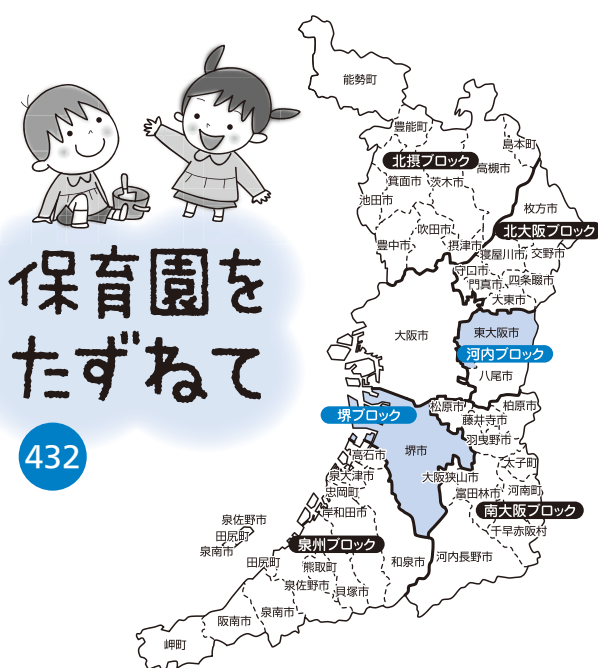
とにかく驚いたのは、園
児が泣いたり走ったりして
いないこと。縦割り保育を
基本に、異年齢から受ける
刺激が年上としての自覚を
芽生えさせ、友だちにも優
しく接することができるそ
うです。

1〜2歳児クラスでは、
玉ねぎやニンジンなどの皮む
き、食器洗い、洗濯板を使
うコーナーもあり、日常生
活・感覚・言語・数・文化
などをテーマにしたスベー
スが準備され、興味に合う
ものが選べます。

園児が落ち着いているの
は、自分のやりたいことに
取り組める環境があり、「仕
事」を自由に選択でき、より
集中できるので、自分のし
たいことができる保育園を
好きになるからです。自分
に合ったことを探し、自分
を発見し、意識を使い、自
立へとつながっていきます。

先生。

私自身、取材を通して研
修会以上の貴重な体験がで
きました。園児はもちろ
ん、園長先生をはじめ職員
の方々の笑顔が印象的でし
た。(編集委員K・M)



保育園を
たずねて

432

堺

市西区にある第2ド
レミ保育園は、泉北
ニュータウンに隣接。吉本
和子理事長が「歩いて何歩
でしょう」と笑っておられ
たほど、ドレミ保育園と第
2ドレミ保育園は、想像し
ていたとおり近距離にあり
ました。

近年、新興住宅が増え、
地元の小学校は児童120
3人のマンモス校です。第
2ドレミ保育園が立地する
場所には、かつて大きな紡
績工場がありましたが、現
在はスーパー、ドラッグス
トア、住宅地などに変わり、

「堺市の民間保育園は一
時預かり事業、乳児家庭全
戸訪問、マイ保育園制度な
ど、地域子育て支援により
充実した新メニューも登場
し、新設園で何かと落ち着
かない面もありますが、地
域子育て支援の拠点となる



甲子園芝の園庭



第2ドレミ保育園

その南端に定員90人の第2
ドレミ保育園が開園されま
した。

園の玄関を入ると、太陽
光発電の売電状況がテレビ
画面に映し出されています。
奥に進むと、明るく、
開放感のあるガラス張りの
広々としたホールがありま
した。また運動場には、寄贈
された甲子園球場の芝が敷
かれ、裸足で芝生の感触を
味わわせていただきました。

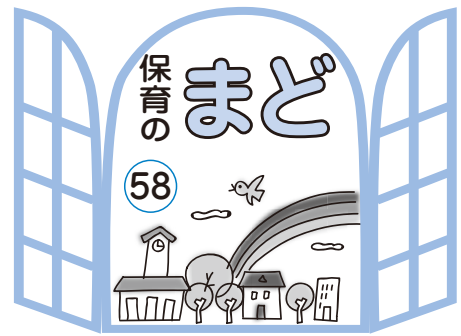
新しく建設された保育園
を羨ましく感じながら、南
ヨーロッパ調の細やかな心
遣いを感じる第2ドレミ保
育園を後にしました。

(編集委員K・K)

地域の子育て支援の拠点に
南欧風の雰囲気漂う新設園

明るく開放的な広いホール
運動場に甲子園球場の芝

堺市 第2ドレミ保育園



● 防災対策について ●

高齢・障がい・保育の 種別を超えた連携で 地域貢献・地域防災

交野市における 地域防災・保育園の防災対策

防災組織や地域貢献連絡会は、他の多くの市町村でも、先進的な取り組みをされています。交野市の連絡会は発足4年目で、今回のテーマでスタートするには物足りないかと思いますが、防災について緒に就いた例として、紹介します。

平成20年1月、交野市社会福祉協議会を事務局に、

市内の社会福祉法人の施設が参加して「交野市社会福祉施設地域貢献連絡会」を立ち上げました。地域貢献事業で先行していた高齢者支援施設の施設長の呼び掛けにに応じ、市内の保育・高齢・障がいの異なる種別の社会福祉法人が参加する横

断的な組織です。

異なる種別の施設見学

初年度は、「異なる種別の実情を互いに知ること」から始めようと、施設見学を実施。特別養護老人ホームを経営している法人は別として、保育園のみ経営する法人は、日頃、高齢福祉施設や障がい福祉施設を見る

機会が少ないため、安全や設備・経営方針などに関し、大変参考になりました。

互いの立地や開所時間、設備、人員などを確認しあう中で課題となったのは、通所・入居の差、建屋の大小、余裕スペースと車両の有無です。特に、耐震構造の建物かどうかが大きな違いでした。

保育園は、補助金で建替えや大規模改修ができると考えておられる方がいますが、市の負担があり、活用できない場合があります。交野市は財政状況が厳しく、耐震補強工事の一部負担金がない状態で、補助金に頼ることはできません。

ワーキングチーム設置

2年目は、「災害時に、私たちは地域に対してどのような貢献ができるか」をテーマに取り上げました。各種別から2人ほどが代表となり、ワーキングチームを設置。月に一回のペースで話し合いを重ねる過程で、まずは、「中規模以上の災害後、それぞれの施設で、何を地域に提供できるか」を具体的に検討しました。



地元との 繋がり深める努力

（下表参照）また、各施設の所在地から、交野市内を4つの中学校区（各施設の偏りが少なくなったため）に区分し、各地域で、より密接に地元と連携を図ることとしました（左図参照）。会議中の問題点は、施設によって地域との連携が難しい場合があることでした。池田小学校事件以後、保育園はセキュリティを強化しました。高齢施設では、感染症対策上、出入口の殺菌処理などを行っており、一般の方には自由な出入りがしにくい状況です。

3年目は、これまでの会合の結果を踏まえ、地元の自主防災組織との連携、民生委員や校区委員との交流

を通して、相互理解を深める努力を行いました。市社協のご尽力をいただき、地元の会合へ積極的に参加しました。その際、災害時に提供できる物・場所・人の説明を行い、共通の理解を深めています。

自助と共助で地域防災

保育園は、これまでに食料・水・燃料の備蓄やロッカーの転倒防止策・防災訓練などを行ってきました。これはいざという時、自分たちで助け合うこと（自助）です。今後求められるのは、地域で共に助けあうこと（共助）だと考えます。近

交野市社会福祉施設地域貢献連絡会 災害時に施設が地域にできること

※地区ごとの施設とその機能。施設分野は、「高齢」「保育」「障がい」に分類
<第1地区>

平成21年11月4日時点

施設分野	施設名	提供できるもの			ボランティアの受け入れ	その他
		人	物	スペース		
高齢	介護老人保健施設青山	介護技術 ※在宅部門スタッフによる 初動期の要援護者の安否確認活動	☆施設機能（食事を作る機能全般） ☆施設機器（車いす・ベッド・ストレッチャー・リフトカー） ☆調理器具・食器・消火器・災害援助物品・テント ☆ガスコンロ・ブルーシート・長机・いす・洗濯機・AED	ロビー・風呂・食堂・交流スペース・駐車場	受け入れる	☆基本的に被災した要援護者の受け入れを考えている。 ☆高齢入所施設が南部に偏っているため、市全体で対応する必要がある。
		外部への対応は不可	☆調理器具・食器・消火器 ☆災害援助物品☆テント・ござ ☆非常食☆ビスケット160食☆発電機	園庭・保育室・講堂・プレハブ	受け入れる	被災者の受け入れは可能だが職員の体制が整わない。
保育	私部保育園 わかば保育園	外部への対応は不可	☆調理器具・食器・消火器 ☆災害援助物品	園庭・保育室	受け入れる	被災者の受け入れは可能だが職員の体制が整わない。

第1地区の一覧をサンプルとして記載しました。施設数は3ヶ所です。高齢支援施設は、提供可能なものの種類が大変多いのが特徴です。

各園・各ブロックで防災対策について、情報提供をお待ちしております。

連絡先
TEL:06-6762-9001
FAX:06-6768-2426

（私部保育園H・H）

隣との情報共有と互助の精神、関係機関との日頃からの連携が、地域防災であり、地域貢献だと思っています。

河内

日本一自由で楽しい
学園訪問

―東大阪市私立保育会

6月22日・23日、北陸方面で理事長園長管外研修を実施。

国宝・彦根城など歴史的建造物を見学した後、福井

県勝山市にある「学校法人きのくに子どもの村学園かつやま子どもの村小中学校」を訪ねました。勝山市以外にも全国に4カ所ある、日本一自由かつ楽しいときとされる学校です。

学園の特色は、自然たっぷりの環境のもと、時間割の大半を「プロジェクト」が占めていること。異年齢

の子どもたちが、家造り、野菜作り、自然研究などを直接体験する科目です。私たちは、実際の授業風景を見学。大きな机を少数の生徒が囲み、先生と互いに意見を交わしながら、自ら学び、物事に対する理解を深めていくという授業



学校紹介のパンフレット

でした。一方通行の講義と違って、自己決定が許される環境だからでしょうか？子どもたちのことが、とても頼もしく思えました。当日は、日替わりで全国4カ所の学園を移動されている堀真一郎学校長が山梨から駆けつけてくださいました。校長先生は、「体験学習から考える力や計算する力が芽生え、国語力や数学の能力になっていく」と話されました。

泉州

子どもが
夢中になる遊び

―泉州保育士会研修

6月25日、今年度2回目の研修を泉佐野市末広体育館で実施。「子どもが夢中になる遊びの展開―日々の保育にいかせるゲーム」のテーマで、南海福祉専門学校の水流寛二氏を招き、約280人の保育士が参加しました。2時間汗を拭きながら、広い体育館を動きまわりました。



楽しくジャンケンゲーム



みんな輪になってジェスチャーゲーム

返し、頭の中ではできると思っていたことが、予想以上に難しく、「あれ？ できない」「難しい」：自分だけではないのだと、思わず笑い声が。いつの間にか緊張はときほぐれ、自然と次の遊びへと繋がっていきました。「アイコンタクト」集団で遊ぶ遊び。視線を合わせ、声掛けをし、仲間関係を築き、説明も言葉だけでなく、ジェスチャーを織り交ぜながら進めていくことが大切なのだとなりました。参加者同士コミュニケーションをとりながらのゲーム遊びに、大きな笑い声が響いていました。「遊び」は個々人の中から広がっていくための空間、時間、仲間、手段といった環境を整えようとする意識が大切。くれぐれも遊び心を忘れないように、保育士自身も子どもと遊びを共有していきたいと感じました。(パルティ道教寺N・T)

旬
食中毒の季節をのりきろう

今更ながら驚くテレビの影響

先日夜、ミナミから帰ろうとしたら、テレビの取材に遭遇。お酒も入り上機嫌なところへ、食の話題になったので、調子にのってついお喋り。翌日夕方、携帯、園の電話があちこちからジャンジャン。「今、テレビに出てるでー」と。この時間にテレビを見ていた方も居てるんやな！の驚きまた一つ。年に一度の夏の夜の集い。卒園児の親たちが「園長先生、テレビ見ましたよ！今、PTAで有名な人！」と噂しきり。老人会の役員は番組の日常のコンセプトを解説。ミナミよりキタの方が取材が多いとか。テレビを見ている人の多さと影響力に今更ながら驚いた。暑い日々が続く「節電」が合

つつい口に。胃腸が弱り夏バテ。暑い時には暑いモノ！おなかの気持ち良くなる、湯豆腐、旬の鱧すきもよろしおます。前月、神戸の湊川市場に連れて行ってもらった。店の多さ、近畿では一番かな？金沢の近江町市場と比べて互角かな？

原則は、
①つけない(手洗い)
②増やさない(低温保存)
③やつつける(加熱)
夏場の足の早さには、苦い思い出あり。前日ボイルし、冷蔵庫に保存しておいた卵を翌日昼の夏祭りに出したところ、異様

近くにはスーパーがなく(できても市場に負ける)、大阪では消えてしまった市場の現存に驚き！品物は安い！新鮮！明石の昼網で揚がった小海老が跳びはねる。
今、食中毒の時期。予防の3
な臭い、白身が粘った液まみれ！300個ほど廃棄し、慌て卵を買いに走った。十分に冷ましてからでないと、モノは腐る！その昔、5月の節句、和菓子屋から昼に届いた柏餅。食後のデザート、葉を開けたら、粘つとしたモノが糸を曳く。おいっ腐ってるがな！即、和菓子屋に電話して、引き取り願ったことも。
注文が多い時期はどうしても保存状態がおざなりに、ス様なことが起こりやすい。私たちは、到って抵抗力の弱い子どもたちをお預かりする立場。より気にかけて、食中毒は絶対出さないよう、十二分な気配りでこの夏を乗りきりましょう。

(H・N)